

# 竜巻研究の歴史と最前線

## 第16回 気象教室

主催：（公益社団法人）日本気象学会九州支部、福岡管区気象台

平成28年**8月27**日（土）14:00～16:30（開場13:30）

九州工業大学 百周年中村記念館 多目的ホール（北九州市戸畑区）

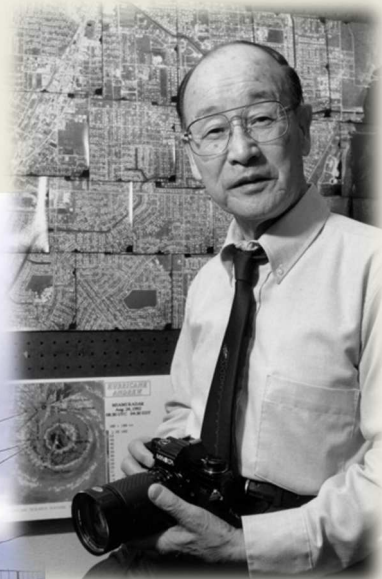
＜入場無料、事前申し込み不要＞

### ➤ 藤田哲也博士の業績と記念会の活動紹介

橋本 昭雄 氏（藤田哲也博士記念会事務局長）

### ➤ 竜巻研究の最前線

楠 研一 氏（気象研究所研究室長）



藤田哲也博士  
シカゴ大学の研究室にて  
（1991年頃）



2006年9月17日に発生した竜巻で横転した鉄道車両（延岡市）



詳しくは裏面あるいは気象学会九州支部ホームページ（<http://msj-kyushu.jp/>）または[気象学会九州支部]で検索をご覧ください。

## 今回の気象教室のあらまし

竜巻は突然発生し、猛烈な風により建物や樹木が吹き飛ばされ、時には鉄道車両が横転するなど大きな被害が発生します。また人命が奪われることもあります。しかし、竜巻は寿命が短くスケールが小さいことから、科学的に詳しく調べるためには大きな困難が伴います。

この困難に立ち向かったのが、北九州市出身の世界的な気象学者である藤田哲也博士（1920-1998）です。博士は、小倉中学（現・小倉高校）、明治専門学校（現・九州工業大学）を出て、東京大学で理学博士の学位を取得しました。竜巻の研究に本格的に取り組んだのはその後米国に渡ってからのことです。現場に残された痕跡や証言、写真などから竜巻を調べるという現場重視の研究で、その業績は世界的にも高く評価され、竜巻の強さを表す「藤田スケール」にその名前が残っています。

今回の気象教室では、博士の偉大な業績や博士を顕彰する活動のほか、博士の研究が事実上の出発点となって発展した最新の竜巻研究を紹介していただきます。

### 橋本 昭雄 氏 藤田哲也博士記念会事務局長



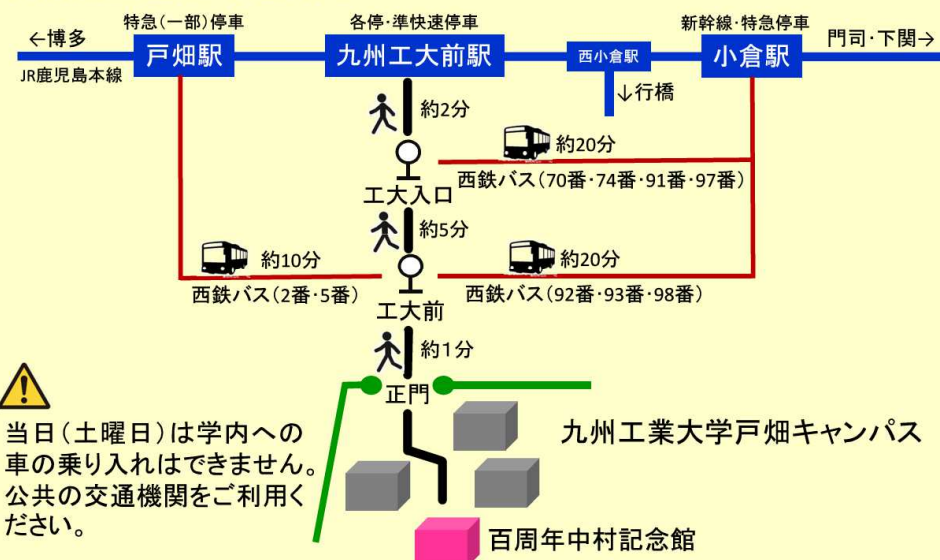
Mr. Tornadoこと、シカゴ大学名誉教授、Dr. Tetsuya Theodore Fujita(藤田哲也博士)は、1998年11月19日、シカゴの自宅で逝去されました。演者らは、世界のTed. Fujitaを顕彰する「藤田哲也博士記念会」を立ち上げました。シカゴ大学「強風研究室」から持ち帰った遺品は、母校である九州工業大学戸畑キャンパス内に保管されています。資料の整理、保存、展示及び米国サイドと連携した国際管理を行うために、資料のデジタル化を実施しています。今回は、藤田博士の業績とともに記念会の活動について紹介します。

### 楠 研一氏 気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部 第四研究室長



竜巻などの突風は、積乱雲にともなって狭い範囲で発生し、短時間で急激に発達します。そのため詳細にとらえることは困難で、まだまだ解明されていない点が多い現象です。そのことが竜巻などの突風に対する防災が必ずしも十分でない大きな原因にもなっています。本講演では、気象庁気象研究所で行われている竜巻研究の、最前線の取り組みを紹介します。

### 気象教室会場のご案内



### 藤田ギャラリーのご案内

百周年中村記念館の1階には藤田哲也博士の研究に関する資料等が展示され、一般に公開されています。



九州工業大学ホームページより